

## 共生社会と歴史認識に関する意識調査（2018年8月実施）

- インターネット調査専門会社に登録している20歳以上のモニタより、性別（男性/女性）・年齢（20代/30代/40代/50代/60代以上）・居住地（北海道/東北/関東/中部/近畿/中国/四国/九州）ごとに日本の総人口に比例した人口構成比で2000名を抽出。
- 調査内容：調査回答者の基本属性・就業状況・家庭状況（Q1～Q11）、共生社会に関する認識と態度（Q12～Q19）、メリトクラシーに関する認識と態度（Q20～Q25）、日本社会に関する認識と態度（Q26～Q34）、歴史に関する認識（Q35～Q39）。

### 単純集計結果

#### 居住地と年齢

		20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
北海道	度数	12	16	19	17	22	86
	総和の%	0.6%	0.8%	1.0%	0.9%	1.1%	4.3%
東北地方	度数	19	26	28	30	35	138
	総和の%	1.0%	1.3%	1.4%	1.5%	1.8%	6.9%
関東地方	度数	114	144	169	129	143	699
	総和の%	5.7%	7.2%	8.5%	6.5%	7.2%	35.0%
中部地方	度数	54	70	84	70	83	361
	総和の%	2.7%	3.5%	4.2%	3.5%	4.2%	18.1%
近畿地方	度数	52	61	77	61	73	324
	総和の%	2.6%	3.1%	3.9%	3.1%	3.7%	16.2%
中国地方	度数	17	22	24	22	28	113
	総和の%	0.9%	1.1%	1.2%	1.1%	1.4%	5.7%
四国地方	度数	8	10	12	12	15	57
	総和の%	0.4%	0.5%	0.6%	0.6%	0.8%	2.9%
九州地方	度数	33	43	47	45	54	222
	総和の%	1.7%	2.2%	2.4%	2.3%	2.7%	11.1%
合計	度数	309	392	460	386	453	2000
	総和の%	15.5%	19.6%	23.0%	19.3%	22.7%	100.0%

性別

男性 50.1

女性 50.0

未既婚

未婚 36.6

既婚 63.5

子供の有無

子供なし 42.4

子供あり 57.6

Q1 あなたが現在お住まいの地域は、次のどれにあたると思いますか。最も近いものを1つ選んでお答えください。

1. 都市部 34.3
2. 都市郊外 57.2
3. 農村 5.9
4. 山村 1.8
5. 漁村 1.0

Q2 あなたが最後に通った学校（中退を含む）、または、現在在籍している学校は、次のうちのどれにあたりますか。

1. 中学校 1.6
2. 高校 27.4
3. 専門学校 11.2
4. 短期大学・高等専門学校 12.7
5. 大学 42.0
6. 大学院 5.1
7. その他（ ）【 必須入力 】 0.2

Q3 あなたが中学校から高校にかけて勉強した教科目のなかで、最も得意であったものを、次のうちから1つ選んでお答えください。

※この中に得意なものがない場合も、相対的に見たときに最もあてはまると思うものをお答えください。

1. 国語 28.4
2. 数学 23.3
3. 英語 14.3
4. 物理 2.6
5. 化学 4.1
6. 生物 4.6
7. 地学 0.8
8. 地理 7.2
9. 歴史 12.7
10. 公民 2.3

Q4 あなたが現在一緒に住んでいる方を、以下の中からすべて選んでお答えください。  
※あなたから見た続柄でお答え下さい。

1. 夫・妻（内縁も含む） 63.8
2. 子ども 40.2
3. 父 14.6
4. 母 20.8
5. 義父 1.0
6. 義母 2.8
7. 祖父母 1.9
8. 配偶者の祖父母 0.1
9. あなたの兄弟姉妹 7.7
10. 配偶者の兄弟姉妹 0.4
11. 子どもの夫・妻 0.4
12. 孫 0.9
13. その他の親族の方 0.6
14. その他（ ）【 必須入力 】 0.4
15. 一緒に住んでいる人はいない（一人暮らし）【 排他選択肢 】 14.2

Q5 あなたは現在、働いていますか。パート・アルバイトなどを含みます。学生ではない方は選択肢 1～2、学生の方は選択肢 3～4 でお答えください。

【学生以外】

1. 働いている 67.3
2. 働いていない 29.3

【学生】

3. 現在学生で、働いている 1.9
4. 現在学生で、働いていない 1.5

Q6 あなたは現在、どのような形態で就業していますか。【 Q5 で 1,3 と答えた方 】

N= 1384

1. 経営者、役員 2.2
2. 常時雇用されている一般従業者（公務員を含む） 55.4
3. 嘱託 2.8
4. 臨時雇用・パート・アルバイト 25.4
5. 派遣社員 3.5
6. 自営業主 6.9
7. 自由業者 2.7
8. その他（ ）【 必須入力 】 1.0

Q7 あなたは現在、一週間あたり実際に何時間くらい働いていますか。およその時間数をお答えください。【 Q5 で 1,3 と答えた方 】

[        ] 時間 【 半角数字／最小 0／最大 168／整数】

Q8 あなたは現在、家庭内で次のことをどの程度なさいますか。

	いつもする	ときどきする	あまりしない	ほとんどしない	自分には該当しない
1. 食事の支度や後かたづけ	58.9	22.3	5.9	9.1	3.9
2. 掃除や洗濯	53.0	24.4	7.9	11.4	3.4
3. 育児や子育て (子どもの世話、しつけ等)	21.3	8.8	4.4	5.3	60.3
4. 介護や看護	3.6	4.4	3.1	6.1	82.9

Q9 あなたのお宅の収入（税込み）は、ご家族全部あわせて、去年 1 年間でおよそどのくらいになりましたか。この中からあてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

1. 200 万円未満 12.1
2. 200 万円～400 万円未満 24.5
3. 400 万円～600 万円未満 24.0
4. 600 万円～800 万円未満 17.5
5. 800 万円～1000 万円未満 9.8
6. 1000 万円～1200 万円未満 5.3
7. 1200 万円～1400 万円未満 2.1
8. 1400 万円～1600 万円未満 2.2
9. 1600 万円～1800 万円未満 0.8
10. 1800 万円～2000 万円未満 0.9
11. 2000 万円以上 1.1

Q10 あなたの生活には経済的にどの程度ゆとりがありますか。

1. ゆとりがある 4.4
2. 多少ゆとりがある 30.6
3. あまりゆとりがない 40.5
4. ゆとりがない 24.6

Q11 あなたは現在、どの政党を支持していますか。この中から支持する政党を1つ選んでお答えください。

1. 自由民主党 19.9
2. 立憲民主党 4.9
3. 国民民主党 0.4
4. 民進党 0.3
5. 公明党 2.7
6. 日本共産党 2.1
7. 日本維新の会 2.1
8. 自由党 0.4
9. 希望の党 0.2
10. 社会民主党 0.5
11. その他の政党〔具体的に記入〕 0.2
12. 支持政党は無い 66.8

Q12 あなたは、「共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、その意味についてご存知ですか。以下の中からあてはまるものを1つ選んでお答えください。

1. 言葉を聞いたこともあり、その意味も知っている 15.8
2. 言葉を聞いたことはあるが、意味はよくわからない 42.8
3. 聞いたことがない 41.5

Q13 「共生社会」に関する問題としてあなたが思いうかべるのはどのようなことでしょうか。最もよくあてはまるものをこの中から3つまで選んでお答えください。【3個まで選択】

※ご存知ない方も、「共生社会」という言葉から思い浮かべるイメージをお答えください。

1. 近所の人間関係 29.0
2. 若い世代と高齢者の関係 41.1
3. 男性と女性の平等 30.0
4. 政治的信条の相違 6.4
5. 宗教的信条の相違 5.6
6. 障害者の社会生活 22.1
7. 仕事と家庭生活のバランス 12.9
8. 日本にいる外国人の社会生活 11.6
9. 企業と消費者の関係 5.9
10. 自然環境と人間の関係 21.1
11. 都市と農山漁村の関係 6.1
12. 日本と世界の国々の関係 11.9
13. その他（ ）【必須入力】 2.1

Q14 何か重要な問題がおきたとき、あなたはどのような人や機関に相談しますか。この中からあてはまるものをすべて選んでお答えください。

1. 自分の親 42.7
2. 自分の兄弟姉妹 21.6
3. 恋人または配偶者 54.7
4. その他の親戚 4.4
5. 仕事関係の友人・知人 12.9
6. 学校時代の友人・知人 14.5
7. その他の友人・知人 11.0
8. インターネット・SNS 5.7
9. 宗教家 0.6
10. 専門家や行政などのサービス機関 11.9
11. その他 ( ) 【 必須入力 】 1.1
12. 誰にも相談しない 【 排他選択肢 】 12.5

Q15 あなたご自身やあなたの身の回りでは、次のようなことがあてはまりますか。この中からあてはまるものすべてを選んでお答えください。

1. 自分自身が障害者である 3.9
2. 家族や親戚に障害者がいる 13.4
3. 普段から、障害のある人と交流する機会がある 5.7
4. 障害のある人と職場や近所などでよく会う 7.2
5. 自分または家族や親戚が外国人と結婚している 3.5
6. 普段から外国人と交流する機会がある 5.4
7. 外国人と職場や近所などでよく会う 7.3
8. 同居している家族にお年寄りがいる 10.3
9. 普段からお年寄りと交流する機会がある 10.3
10. お年寄りと職場や近所などでよく会う 17.3
11. この中にあてはまるものはない 【 排他選択肢 】 50.9

Q16 あなたは次の人たちと普段どのような交流をしていますか。あてはまるものをそれぞれすべて選択してください。【セレクト条件 項目【1】-【3】: Q15 項目【3】【6】【9】を選択した方】

	職場で一緒に仕事をしている	仕事の相手として関わっている	隣近所でのお付き合いをしている	学校で一緒に勉強をしている	一緒に趣味やサークルの活動をしている	友人としての付き合いをしている	病気の時にお見舞いに行ったり、世話をしたりする	社会生活が不利にならないように手助けをしている	悩みを聞いたり、相談に乗ってあげたりする	その他
1. 障害のある人 N=114	21.1	30.7	9.6	2.6	9.6	22.8	6.1	12.3	17.5	26.3
2. 外国人 N=108	38.9	32.4	11.1	4.6	10.2	39.8	1.9	3.7	10.2	13.0
3. お年寄り N=206	9.7	38.3	37.4	0.0	11.2	7.3	15.5	9.7	13.1	15.0

Q17 あなたのお住まいの地域で、もし何かの「違い」が問題を引き起こすとすれば、その原因になる「違い」は何だと思えますか。この中からあてはまるものをいくつでも選んでお答えください。

1. 居住年数の違い 13.3
2. 世代の違い 57.8
3. 性別の違い 10.4
4. 障害の有無 9.9
5. 出身地域の違い 10.8
6. 学歴・出身学校の違い 6.9
7. 貧富の差 34.5
8. 職業の違い 10.8
9. 社会的地位の違い 16.6
10. 支持政党の違い 4.2
11. 宗教的信条の違い 13.9
12. 人種・国籍の違い 18.0
13. その他（ ）【必須入力】 4.8

Q18 あなたは、街で困っている「障害者」「外国人」「高齢者」に出会ったときに、どのように感じますか？ あなたの考えにあてはまる項目のすべてに それぞれチェックを入れてください。

	積極的に手助けしたい	自分が何をすればよいかわからない	どのように接したらよいかわからない	お節介になるような気がする	専門の人や関係者にまかせた方がよい	自分にとって負担になるような気がする	この中にあてはまるものはない
1. 障害のある人	27.0	26.9	30.3	17.5	13.5	5.6	12.7
2. 外国人	21.7	23.4	36.7	7.2	6.9	7.4	14.8
3. お年寄り	38.1	18.1	16.4	20.8	9.6	6.7	12.7

Q19 障害者および高齢者に関する国や地方公共団体の施策のうち、あなた自身に税負担の増加があったとしても、もっと力を入れる必要があると思う項目のすべてにそれぞれチェックを入れてください。

	医療	在宅サービス	リハビリテーション	相談体制	就業支援	スポーツ・文化活動の支援	点字・手話・字幕放送の提供	住宅の整備	交通機関・公共施設の整備	年金や手当	障害者・高齢者についての理解を深めるための学校教育・広報活動	その他	特にない
1. 障害者	28.7	23.1	16.3	16.9	35.6	4.8	9.3	13.0	24.5	17.5	20.6	1.2	20.6
2. 高齢者	36.5	41.7	23.4	20.0	8.1	4.0	1.8	16.8	21.5	28.5	14.2	1.3	20.0

**Q20** どのような人が高い地位や経済的豊かさを得るのがよいか、という点について、次のような意見があります。この中であなたの意見に最も近いものを1つ選んでお答えください。

1. 実績をあげた人ほど多く得るのが望ましい 24.7
2. 努力した人ほど多く得るのが望ましい 36.9
3. 必要としている人が必要なだけ得るのが望ましい 23.2
4. 誰でもが同じくらいに得るのが望ましい 15.2

**Q21** それでは日本社会の現実、次の4つのうちのどれに一番近いと思われますか。あなたの考えに最も近いものを下記の中から1つ選んでお答えください。

1. 実績をあげた人ほど多く得ている 69.2
2. 努力した人ほど多く得ている 9.8
3. 必要としている人が必要なだけ得ている 12.0
4. 誰でもが同じくらいに得ている 9.1

**Q22** 「貧困」と「貧困に対する扶助」として、あなたの考えに最も近いものを次の中から1つ選んでお答えください。

1. 自己責任であるので、公的な扶助は必要ない。 11.5
2. 自己責任だが、公的に扶助すべきである。 38.1
3. 格差社会の構造の問題なので、公的に扶助すべきである。 41.7
4. 格差社会の構造の問題だが、公的な扶助は必要ない。 8.8

Q23 現在の日本の社会は、収入や財産の点で大きな差がある「格差社会」になりつつあると言われてしています。それでは、この場合の「格差」とは、何がもたらす「差」だと考えますか。「格差」をもたらすものとして大きな力をもつと思うものを次の中から順に 3 番目まで選んで、お答えください。

※あてはまるものが無い方も、いずれかお気持ちに近いものをお選びください。

【順位回答 (3 番目まで)、必須回答 (1 番目まで)】

	1. 本人の努力	2. 本人の生まれ持った才能	3. 親による教育	4. 親の資産 (お金や物)	5. 受けた学校教育	6. 生まれ育った地域特性	7. 運などの偶然的なもの
第 1 位 N=2000	29.8	10.7	11.3	29.7	5.1	5.7	7.9
第 2 位 N=1656	12.4	14.1	16.3	23.1	16.2	10.0	7.9
第 3 位 N=1523	17.2	13.4	12.0	12.7	17.1	12.1	15.4

Q24 所得の多い家庭の子どものほうが、より良い教育を受けられる傾向があると言われています。こうした傾向について、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものを次の中から 1 つ選んでお答えください。

1. 当然だ 20.1
2. 問題だ 34.2
3. やむをえない 45.7

Q25 学校教育をめぐる対照的な意見が以下に示してあります。【1】から【8】の点に関して、【A】と【B】の意見のうち、あなたの考えにより近いものを1つずつ選んでお答えください。

【A】	Aの意見に近い	Bの意見に近い	【B】
<b>【1. 公立学校について】</b>			
【A】 公立学校は、勉強の苦手な子どもに学力をつけることを重視すべきだ	74.5	25.5	【B】 公立学校は、勉強の得意な子どもの学力を伸ばすことを重視すべきだ
<b>【2. 教育内容について】</b>			
【A】 全国的に共通の内容・水準が確保されるために、教育内容は国が定めたほうがいい	60.5	39.5	【B】 自由な教育が行われるために、教育内容は都道府県・市区町村や各学校が定めたほうがいい
<b>【3. 学校教育の役割について】</b>			
【A】 学校は、市民としてきちんと社会で生きられる人間の育成を重視すべきだ	78.6	21.4	【B】 学校は、産業社会でしっかりと働ける人間の育成を重視すべきだ
<b>【4. 育成すべきものについて】</b>			
【A】 学校は、教科に関する知識の習得を重視すべきだ	20.5	79.6	【B】 学校は、将来、社会で活用できる力（論理的思考力、コミュニケーション力など）の育成を重視すべきだ
<b>【5. 学校間の競争について】</b>			
【A】 学校が競争すると、成果を上げるために無理をして教育は悪くなる	52.2	47.9	【B】 学校が競争すれば、学校の中に活気が生まれて教育は良くなる
<b>【6. 教育の財政的基盤について】</b>			
【A】 学校教育は現状のままでよいので、税金は増やさないほうがよい	51.6	48.4	【B】 学校教育を充実させるために税金が増えるのは仕方ない
<b>【7. 教育予算について】</b>			
【A】 教育予算は、所得の低い家庭の子どもに対して手厚く使われるほうがよい	48.7	51.3	【B】 教育予算は、全員に等しく使われるほうがよい
<b>【8. 教育・福祉の充実について】</b>			
【A】 国は、高齢者の医療・福祉の予算をより充実させるほうがよい	34.4	65.7	【B】 国は、子ども・若者の教育・福祉の予算をより充実させるほうがよい

Q26 あなたがお住まいの地域に、次のような施設の建設が計画されているとします。その場合、あなたはその施設を受け入れることを容認しますか。あなたの考えにより近いものを1つずつ選んでお答えください。

	受け入れを容認する	受け入れを容認しない
1. 火葬場	59.5	40.5
2. 原子力発電所	16.2	83.8
3. 米軍基地	17.9	82.1
4. ごみ処理場	43.9	56.2
5. 空港	40.7	59.4

Q27 あなたが次の施設の受け入れを容認するのはなぜですか。あなたの考えにあてはまるものをそれぞれすべて選択してください。【セレクト条件 項目【1】 - 【5】：Q26項目【1】 - 【5】で1と答えた方】

	受け入れてもあまり負担にならないから	社会全体にとって必要だから	補償金や財政援助が期待できるから	雇用を期待できるから	その他
1. 火葬場 N=1190	39.3	71.7	6.9	4.4	2.7
2. 原子力発電所 N=324	21.9	70.4	30.9	23.1	4.0
3. 米軍基地 N=358	21.2	49.2	30.4	27.7	9.5
4. ごみ処理場 N=877	26.3	82.2	11.5	10.8	2.4
5. 空港 N=813	28.9	53.9	20.2	33.1	7.6

Q28 あなたが次の施設の受け入れを容認しないのはなぜですか。あなたの考えにあてはまるものをそれぞれすべて選択してください。【セレクト条件 項目【1】 - 【5】：Q26項目【1】 - 【5】で2と答えた方】

	受け入れによる負担が大きすぎるから	自分の地域に建設されない理由はないから	補償金や財政援助が期待できないから	雇用を期待できないから	その他
1. 火葬場 N=810	31.1	52.7	5.6	6.8	17.2
2. 原子力発電所 N=1676	69.0	32.8	3.8	2.5	15.3
3. 米軍基地 N=1642	67.2	36.4	4.4	3.9	14.5
4. ごみ処理場 N=1123	51.5	43.6	5.5	3.5	13.4
5. 空港 N=1187	55.0	43.6	4.5	2.9	13.6

Q29 あなた自身についてうかがいます。あなたにとって、次のような気持ちや思いは、どの程度あてはまりますか。(それぞれひとつずつ)【ランダムイズ：項目 1-12】

	とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
1. 日本の古い寺や民家を見ると、非常に親しみを感じる	20.1	50.4	23.7	5.8
2. 自分なりに日本のために役に立ちたい	10.7	55.4	28.2	5.7
3. いろいろな国の人と友達になりたい	15.1	39.3	34.4	11.3
4. 貧しい国の人たちへの支援活動に協力したい	6.5	46.9	36.8	9.8
5. 先祖を供養することは大切だと思う	32.5	49.9	13.7	4.0
6. 自分は宗教心があるほうだ	3.9	16.1	38.8	41.3
7. 長く受け継がれてきた習慣やしきたりを守ることが、よい結果を生むと思う	9.0	47.4	37.7	6.0
8. 自分が行った行為は、いつかめぐりめぐって自分自身に報いが返ってくると思う	29.1	54.7	13.2	3.1
9. 絶対的に善いことや正しいことは、世の中には存在しないと思う	15.3	41.4	35.6	7.7
10. 社会がどうあるべきかについては、政治に任せておけばよいと思う	2.7	18.6	53.6	25.2
11. 自分が頑張っても、いつまでも社会を変えることはできない	22.3	52.7	21.3	3.8
12. 働かずに生活できるなら、働きたくないと思う	27.8	36.6	27.5	8.2

Q30 家族や子育て、介護について、一般的に次のような意見がありますが、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

【 ランダムイズ：項目 1-10 】

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
1. 子どもをもつと、家族の結びつきが強まる	35.6	47.5	13.0	4.0
2. 子育てを通じて人間的に成長できる	43.2	43.5	10.0	3.4
3. 結婚していない人よりも結婚している人の方が幸せである	8.7	33.9	36.7	20.8
4. 子どもをもつことは社会的な義務である	9.6	28.5	38.8	23.2
5. 夫婦が離婚した後も、子どもは両方の親と接するほうがよい	38.0	46.5	12.0	3.5
6. 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念する方がよい	22.1	44.5	24.0	9.5
7. 家族を（経済的に）養うのは男性の役割だ	11.5	44.0	31.8	12.8
8. 主婦（第三号被保険者）も自分で年金保険料を納めるように制度を改めるべきだ	14.3	32.7	38.6	14.5
9. 結婚しても、相手に満足できないときはいつでも離婚すればよい	16.0	39.8	36.1	8.2
10. ひとり親家庭であっても、子どもは立派に育つ	39.2	45.9	12.7	2.2

Q31 あなたは、沖縄の文化と日本の文化との「違い」について、どのように考えていますか。あなたの考えに最も近いものを下記の中から1つ選んでお答えください。

1. 沖縄にはもともと特有の文化があり、現在も日本の文化との違いがあると思う	49.6
2. 沖縄にはもともと特有の文化があったが、次第に日本の文化との違いはなくなっていると思う	38.7
3. 沖縄と日本の文化にはもともと違いはなく、現在も違いはないと思う	8.3
4. 沖縄と日本の文化にはもともと違いはなかったが、次第に違いが生じてきていると思う	3.5

Q32 今の日本の社会について、あなたはどのように思っていますか。(それぞれひとつずつ)【ランダムイズ：項目 1-11】

	まったくそう思う	かなりそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない
1. 自由な社会だ	6.1	40.7	43.3	10.1
2. 平和な社会だ	15.5	53.2	27.0	4.4
3. 男女平等な社会だ	2.5	20.1	59.9	17.6
4. 民主主義が発達している	5.0	43.2	44.4	7.5
5. 日本人は、他の国民に比べて、すぐれた素質をもっている	12.4	50.2	32.5	5.0
6. 外国人は日本社会に完全にはとけこめない	8.8	41.2	45.6	4.5
7. 学歴がものをいう社会だ	17.6	51.5	28.1	2.9
8. 大企業の力が強い	36.6	51.4	10.3	1.9
9. 人生が職業生活を中心に構成されている	22.9	61.3	13.6	2.4
10. 国民の意見が政治に反映されていない	37.0	43.3	17.2	2.6
11. 今でも日本は、外国から見習うべきことが多い	19.5	55.1	23.2	2.3

Q33 あなたは、日本に関する次のようなことについて、どのように思いますか。(それぞれひとつずつ)【ランダムイズ：項目 1-8】

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対
1. 学校での外国語の教育を充実させる	43.1	44.4	9.8	2.8
2. たくさんの日本人が海外に住む	21.6	52.1	23.4	3.0
3. たくさんの外国人が日本国内に住む	12.6	40.1	35.8	11.6
4. 外国人がプロ野球チームの監督になる	36.4	46.5	13.8	3.4
5. 外国人が相撲の横綱になる	28.1	43.9	21.6	6.4
6. 永住外国人家族に子ども手当を支給する	18.4	46.5	21.3	14.0
7. 外国人学校に高校無償化を適用する	10.6	26.9	39.5	23.0
8. 永住外国人に地方選挙権を認める	20.9	46.2	18.9	14.1

Q34 あなたは、今後の日本社会はどのように変化すると思いますか。(それぞれひとつずつ) 【ランダムイズ：項目 1-6】

	とても 思う	まあ 思う	あまり 思わない	まったく 思わない
1. 安定した仕事を得ることがどんどん難しくなる	33.1	51.6	14.1	1.3
2. 学歴よりも学生時代に何を学んだかが重視される社会になる	17.8	47.5	29.6	5.2
3. 日本で仕事をするにしても海外の人や企業とつきあう力が今より必要になる	33.9	57.3	7.4	1.5
4. 人工知能 (AI) の発達によって人間の仕事が変わる	36.7	51.8	10.0	1.6
5. 学歴がより重視される社会になる	13.7	38.8	41.3	6.4
6. 貧富の差が拡大する	38.2	50.8	9.9	1.2

Q35 あなたは、日本の歴史についてどのような印象をもっていますか。それぞれについて1つ選んでお答えください。【ランダムイズ：項目 1-8】

	そう 思う	どちらとも いえない	そう 思わない	わから ない
1. 日本の社会では総じて、人びとは助け合って暮らしてきた	55.2	31.7	9.8	3.4
2. 天皇と皇室は世界の中でも最も古くから続く統治の主体である	40.7	34.9	15.4	9.1
3. 「国風文化」の発生は中国文化の影響から脱することを意味した	15.4	46.6	18.6	19.5
4. 琉球の歴史は日本の歴史の一部である	44.9	33.9	15.0	6.3
5. 江戸時代の社会は、対立よりも調和によって特徴づけられる	28.2	43.3	16.9	11.7
6. 明治維新以後に、国家としての「日本」は初めて成立した	28.9	38.2	22.4	10.6
7. 日本人の勤勉さが日本の近代化を支えた	67.9	21.5	7.2	3.4
8. 明治時代以降、学校制度は国家官僚制の一部として機能してきた	31.0	42.7	12.7	13.6

Q36 あなたは、以下の歴史用語を聞いたことがありますか。また、その意味についてご存知ですか。それぞれについてあてはまるものを1つ選んでお答えください。

	言葉を聞いたこともあり、その意味も知っている	言葉を聞いたことはあるが、意味はよくわからない	聞いたことがない
1. 倭国	52.5	38.1	9.4
2. 邪馬台国	66.4	29.5	4.2
3. 邪馬台国連合	15.1	29.0	56.0
4. 纏向遺跡	7.7	15.4	77.0
5. 大和朝廷	49.5	38.7	11.8
6. ヤマト王権	20.4	34.4	45.3
7. 聖徳太子	80.8	17.8	1.5
8. 厩戸王	31.1	19.7	49.3
9. 元寇	42.6	23.7	33.8
10. 倭寇	41.1	33.9	25.1
11. 台湾出兵	30.3	31.8	37.9
12. 江華島事件	12.8	29.6	57.7
13. 琉球処分	13.4	22.7	64.0
14. 屯田兵制度	42.5	39.7	17.9
15. 甲午農民戦争	11.0	26.5	62.6
16. 義和団事件	20.9	36.2	42.9
17. 反日義兵闘争	13.0	26.4	60.7
18. 三・一運動	14.4	36.7	49.0
19. 柳条湖事件	12.9	18.6	68.6
20. 盧溝橋事件	24.6	26.5	48.9

Q37 日本の歴史に関する対照的な情報が以下に示してあります。【1】から【8】の点に関して、【A】と【B】の情報のうち、あなたの歴史認識に より近いもの を1つずつ選んでお答えください。

【A】	Aの意見に近い	Bの意見に近い	【B】
<b>【1. 鎌倉幕府について】</b>			
【A】 鎌倉幕府が成立したのは1192年である。	70.9	29.2	【B】 鎌倉幕府が成立したのは1185年である。
<b>【2. 鎖国政策について】</b>			
【A】 江戸幕府は1639(寛永16)年、スペイン船に続いてポルトガル船の来航を禁じたが、長崎の出島でオランダ商館との貿易は続けた。また、中国の民間商船や朝鮮国・琉球王国・アイヌ民族との貿易も行っていた。	46.5	53.6	【B】 江戸幕府は1639(寛永16)年にポルトガル船の来航を禁止し、1641(寛永18)年には平戸のオランダ商館を長崎の出島に移し、オランダ人と日本人との自由な交流も禁じて、長崎奉行がきびしく監視することになった。こうしていわゆる鎖国の状態となった。
<b>【3. 日露戦争のアジアへの影響について】</b>			
【A】 日露戦争での日本の勝利がアジア諸民族に与えた影響は大きく、各地に民族的な覚醒がみられた。	36.4	63.6	【B】 ロシアに対する日本の勝利は、アジア諸民族の民族的自覚を高めたが、その後の日本は、むしろ欧米列強とならんで大陸への帝国主義的進出を進めた。
<b>【4. 1930年代の軍部の台頭について】</b>			
【A】 日本では1923年の関東大震災前後から貿易の不振がつづき、1927年には多くの銀行・会社が倒産したが、1929年におこった世界経済恐慌の影響を受けて経済界はまったく混乱し、労働運動が発展した。この社会不安のなかで、政党はいたずらに政権争いを続けて国民の信用を失い、かわって軍部の勢力が台頭した。	58.6	41.4	【B】 1930年代以降、軍部は政党と対抗できる自信を高め、さらに進んでは政府を動かして国内の自由主義・社会主義を弾圧するとともに、積極的な対外政策を行って、軍部独裁・政党政治反対、そして政党背後の財閥の排撃を進めた。
<b>【5. 開戦について】</b>			
【A】 1941年12月8日、日本は無謀にもハワイの真珠湾を空襲して、アメリカ・イギリス両国に宣戦し、太平洋戦争に突入した。	59.6	40.5	【B】 1941年12月8日、日本軍はハワイの真珠湾にある米海軍基地を攻撃する一方、マレー半島に軍を上陸させて、アメリカ・イギリスに宣戦し、太平洋戦争に突入した。
<b>【6. 終戦について】</b>			
【A】 太平洋戦争が終了したのは1945年9月2日である。	20.2	79.8	【B】 太平洋戦争が終了したのは1945年8月15日である。
<b>【7. 降伏について】</b>			
【A】 1945年8月、日本はポツダム宣言を受諾して「無条件降伏」した。	57.5	42.5	【B】 1945年8月、日本は、「日本軍の無条件降伏」を要求するポツダム宣言を受諾して「降伏」した。
<b>【8. 第二次世界大戦の終結について】</b>			
【A】 第二次世界大戦の終結を表現すると、「ファシズム諸国の敗北」である。	59.8	40.3	【B】 第二次世界大戦の終結を表現すると、「民主主義の勝利」である。

Q38 以下の記述は、現在の高校の歴史教科書に掲載されている情報です。あなたは、これらの内容をこれまでに既知に知っていましたか、それとも今まで知りませんでしたか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選んでお答えください。

	これまでに既に知っていた	今まで知らなかった
1. 「日本」が国号として用いられるようになったのは7世紀末から8世紀初めの頃である。	17.1	82.9
2. 16世紀に成立した西ヨーロッパを中心とする世界システムでは、全体を支配する政権がなかった。このため、経済の分業体制（貿易）だけで結びつく、独特の「近代世界システム」が成立した。このシステムは、その後の、ほかの「世界」を次々と吸収し、20世紀までには地球全体をおおう「一体化した世界」が成立した。	16.6	83.4
3. 1789～99年のフランス革命は、それまで身分・職業・地域などによって分けられていた人々を、国家と直接結びつけた市民（国民）に変えようとした。こうして誕生した、国民意識をもった平等な市民が国家を構成するという「国民国家」の理念は、やがてフランス以外の国々にも広まった。	40.6	59.5
4. 今日の初等教育の基本形態である公教育制度という考え方は、フランス革命の時に始まった。その実施には当初より、教育を受けるのは市民の権利であるという意識と、国を支える国民の育成という国家の要求が重なりあっていた。	22.5	77.6
5. 寛政の改革（1787～1793年）以降、江戸幕府は、北方におけるロシアの南下に対し、択捉島の外側に「国境」線を引く意識をもった。同時に「国境」線の内側の日本という「国家」と「国民」とは何かを、あらためて確認する必要に迫られた。	20.1	80.0
6. 19世紀には歴史学の分野でも、科学的考察への志向が強まった。史料館の整備と史料集の刊行が各国で進み、ナショナリズムの風潮とあいまって、ドイツのランゲやフランスのミシュレのように、「国民」の实在を前提にその成立・発展を叙述する国民史の流行につながった。	14.0	86.0
7. 太平洋戦争の開始以後、日本は「大東亜共栄圏」をとねえ、占領下のフィリピン・ビルマでは親日政権を設立させ、インドネシアでは親日組織をつくらせた。またインドシナ・タイには、日本との協力を声明させた。	39.0	61.1
8. 1947（昭和22）年、民主主義的な理念のもとで、装いを新たにした教科書検定制度が採用された。しかし、1950年代に強化された教科書検定はさまざまな議論をよび、1965年から歴史学者の家永三郎が、教科書検定の実態は違憲・違法であるとする訴訟（教科書裁判）を起こした。三次にわたった裁判は、1997（平成9）年に家永側の一部勝訴で結審した。	24.8	75.3
9. 1972（昭和47）年9月に日本と中華人民共和国は国交正常化を実現した。日中共同声明では、日本側が戦争による加害責任を認め、反省する態度を表明したうえで、日中両国間の「不正常な状態」の終結を共同で宣言し、さらに日本は中華人民共和国を「中国で唯一の合法政府」と認めた。	36.3	63.8
10. 1999（平成11）年に公布・施行された国旗・国歌法をめぐっては、日の丸・君が代がアジアに対する侵略戦争で果たした役割とともに、思想・良心の自由、とりわけ内心の自由をどう保障するかが議論となった。政府は、この法律によって国民に国旗掲揚、国歌斉唱などを強制するものではないことを国会審議で明らかにした。しかし、一部の自治体で公務員への強制の動きがある。	40.7	59.3

Q39 以下の7つの歴史事象についておうかがいします。あなたは、今後の子どもたちの教育のために、これからの歴史教科書におけるそれぞれの歴史事象の説明は、どのくらい詳細であるのが望ましいと思いますか、あるいは、掲載しないのが望ましいと思いますか。中学校段階と高校段階を想定し、それぞれの段階の歴史教科書について、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選んでお答えください。

	中学校段階の歴史教科書			高校段階の歴史教科書		
	詳細な説明が望ましい	簡潔な説明が望ましい	教科書に掲載しない	詳細な説明が望ましい	簡潔な説明が望ましい	教科書に掲載しない
1. 日韓併合。1904年の第1次日韓協約、1905年の第2次日韓協約、1907年の第3次日韓協約から、1910年の韓国併合に至るまでの過程	36.5	54.8	8.8	48.4	45.1	6.6
2. 1937年の日中戦争開戦と、日本軍による国民政府の首都・南京の占領。その際、南京陥落前後に日本軍が市内外で略奪や暴行、一般住民および捕虜の殺害を行ったこと（南京事件）	40.8	48.4	10.8	51.6	39.8	8.7
3. 太平洋戦争下の国民の動員。1943年からの大学・高等学校および専門学校に在学中の徴兵適齢文科系学生の軍への徴集（学徒出陣）、学校に残る学生・生徒や女子挺身隊に編成した女性の軍需工場などへの徴集（勤労働員）、朝鮮人や占領地域の中国人の鉱山や土木工事現場などへの動員、朝鮮・台湾での徴兵制、戦地の「慰安施設」への朝鮮・中国・フィリピンなどからの女性の徴集（いわゆる従軍慰安婦）など	43.6	44.9	11.6	52.7	38.3	9.1
4. 1945年3月26日から6月23日まで行われた日本軍とアメリカ軍との沖縄戦。島民を巻き込んだ激しい地上戦となり、「集団自決」に追いこまれた人びとも含めて、死者は軍民あわせて18万人余りにのぼったこと	52.7	39.5	7.9	58.0	35.1	7.0
5. 1945年3月10日の東京大空襲。アメリカ軍の約300機のB29爆撃機が東京下町の人口密集地を中心に約1700トンの焼夷弾を投下し、一夜にして約10万人が焼死したこと	54.2	39.7	6.1	59.9	34.3	5.9
6. 1945年8月6日に広島に、8月9日に長崎にアメリカ軍によって投下された原子爆弾。広島で約14万人（1945年末時点）が生命を奪われ、長崎では死者は7万人以上（1950年7月時点）となったこと	66.1	29.1	4.8	67.7	26.7	5.7
7. 1945年8月8日のソビエト連邦の対日宣戦布告、および満州・朝鮮・樺太への侵攻。満蒙開拓移民をはじめ多くの日本人が悲惨な最期をとげ、引揚げ者も厳しい苦難にあい、多数の中国残留孤児を生む結果となったこと。また、ソ連に降伏した軍人と一部の居留民あわせて約60万人がシベリアなどソ連各地に長期間抑留され、悪条件下での労働で多くの死者を出したこと（シベリア抑留）	52.0	42.0	6.1	59.0	35.8	5.2